

# 人と自然をつなぐ「熱い想い」おも

この手紙が届くのは年末になりますね。今年はホッキョクグマの子「ゆめ」のお披露目、えぞひぐま館のオープンと続きました。片や地球温暖化の象徴として取り上げられるホッキョクグマ。片や身近な野生動物との関係の難しさの象徴としてのエゾヒグマ。旭山動物園としては、どちらもとてもタイムリーな出来事になりました。今年、白いクマと茶色のクマを軸にした一年だったかなと感じています。

旭山動物園のシマフクロウ。  
人工巣箱での繁殖も行われています



先日、環境省が行っているシマフクロウの巣箱掛けに同行させていただきました。普段は人が立ち入らない川沿いのヒグマの生息地を、想像よりも多くの設置機材を背負い、エゾシカの獣道に沿って歩きます。巣箱といっても直径60cm高さ80cmほどもあり、それを高さ7m近くまで持ち上げて既存の木に縛り付けるのです。想像以上の労力、さらには巣箱を掛ける場所の選定までの地道で継続

した調査…。現在は人目に付かない場所を選定しているので、このような活動はほとんど知られていません。しかし、現在繁殖しているシマフクロウのペアの多くが、人工の巣箱を利用しているという現実があります。シマフクロウが生息・繁殖できる可能性のある河畔林に、大きな洞などがある巨木がないからです。これから野生の個体数を増やしていくには、人工の巣箱に頼らざるを得ないのです。シマフクロウへの、さらには人と自然との関係に「熱い想い」があるからこそその持続力、こだわり、結果に結びつけていく努力があるのだと強く感じました。

このシマフクロウをはじめ、長く厳しい冬があるからこそ、命をつなぐリズムが生まれる北海道。生き物たちのたくましさ、現状をしっかりと伝えていかなければと改めて思いました。

今年、旭山動物園の方の来園がとて多印象でした。地元根差した動物園として過ごせたことに感謝して、今年の手紙の締めくくりにさせていただきます。

## 旭山ピックアップ

### ライオンの赤ちゃんの展示が始まりました

9/12に誕生したライオンの赤ちゃんたち(イト・レイ・フウ)の展示が始まりました。天候や体調を考慮して不定期での展示になりますので、ご了承ください。また、多くの方がご覧になれるよう、譲り合っの見学にご協力をお願いします。



右イト・左上レイ・左下フウ

### 冬期開園・時間

4/9(日)まで 10:30~15:30  
(入園は15:00まで。12/30(金)~1/1(日)は休園)  
※最新情報は同園HPなどで確認を。

### 旭山動物園をもっと楽しむ

#### ワンポイントガイド

- ☑飼育員が動物のエピソードなどを紹介
- 📅毎週日曜日・祝日 13:30から

#### 園内イベント

詳細は決まり次第、同園HPに掲載



【詳細】旭山動物園  
(東旭川町倉沼 ☎36・1104)